

「なんで水がきれいにならないの…」

今日も登園するなり、恒例の池チェック。「冷た〜い!」と池の水の冷たさを確認、池を手でかき混ぜました。A児「すぐに汚くなった…カニ見えへんやん」B児「なんでずっと水はきれいにならへんのかな…?」C児「川で遊んでもならへんのかな」と。K先生「書きませたらどんな風に汚れていくの?」と聞くと、C児「煙みたいにもわって汚れていく」K先生「どこから?」D児「下からやん」K先生「下は今どうなってるの?」B児は手を底にいれてすくうと「泥が出てきた」B児「泥がたまってんや」K先生、「泥がたまりやすいのは深すぎるからかもしれないね。」C児「日吉大社の川は深くなかった」K先生「じゃあもう少し浅くしようか?」と、もう一度防水ライナーをめくって埋め直ことにしました。



水の循環を考えると、深すぎると、流れが滞留し、水は濁りやすくなるのが、K先生もやってみてわかったことで、絶妙な深さにするには大人の手が必要でしたが、子どもの気づきを促して、力を借り、ほどよい深さにすることができました。

